

What's Cool

今泉 洋の

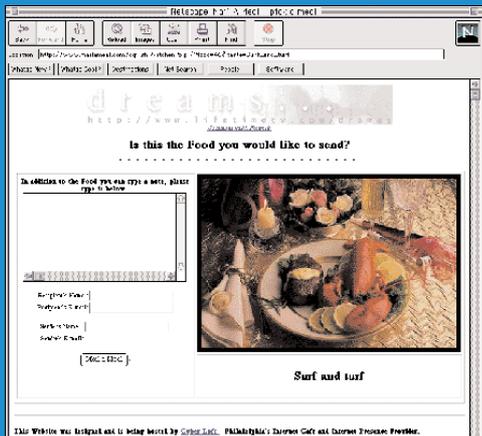


What's Cool

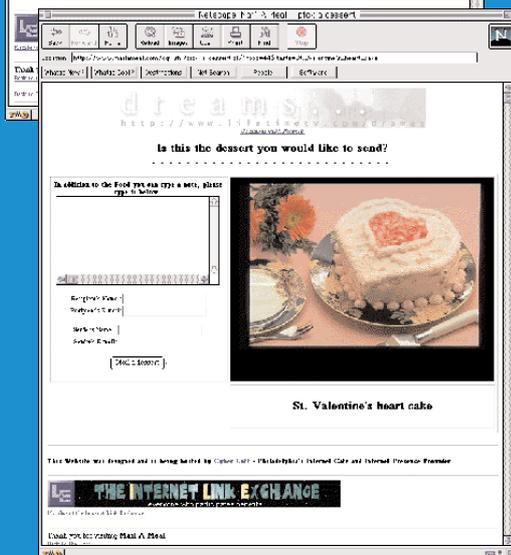
デートの催促に使われると怖い ビューティフルなポストカード

Mail a Meal - Gourmet Postcards

URL <http://www.mailameal.com/>



Surf and turf

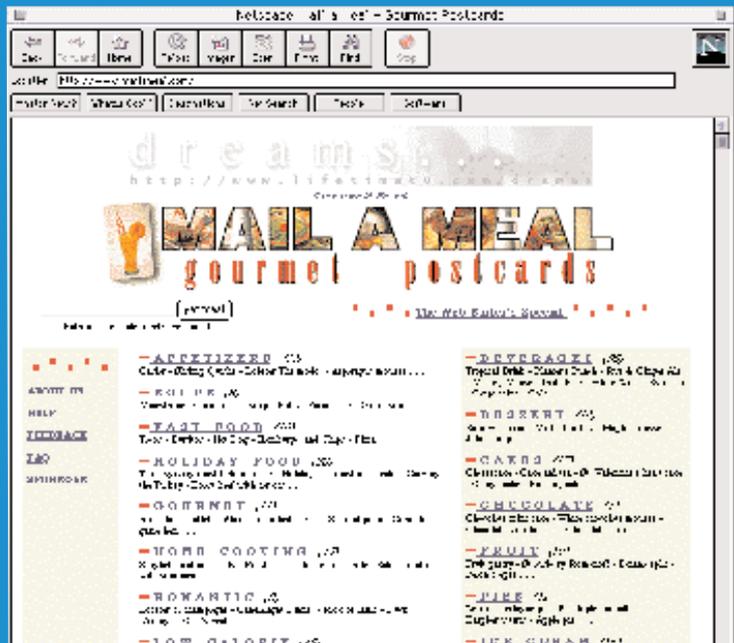


St. Valentine's heart cake

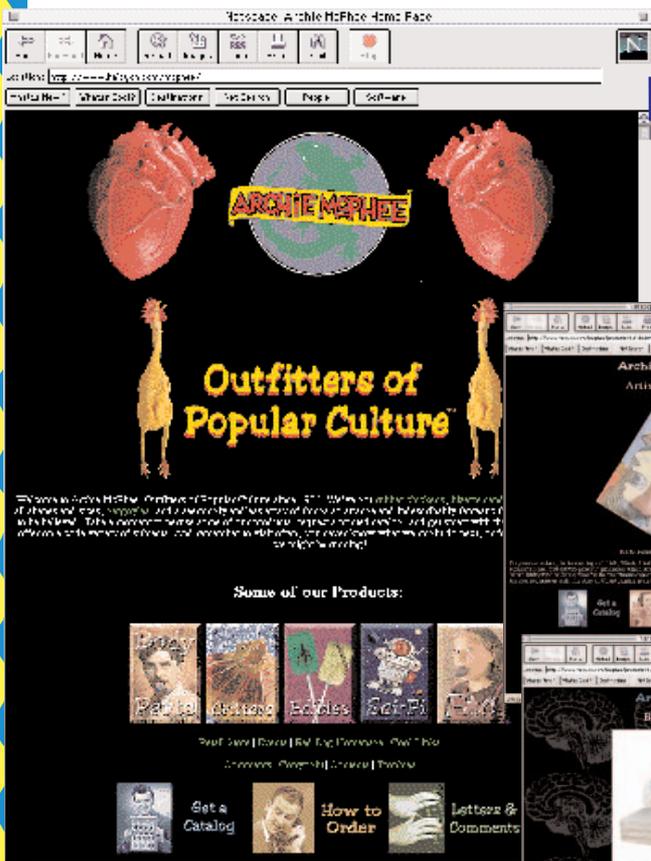
最近、日本でもパソコンで作る年賀状や電子メールで送るカードサービスが登場するなど、この手のものがやってきた。このページでもこれまでインターネットを使ったシャレのきついものやフエイクもののポストカードを取り上げてきたが、もう当たり前になっちゃったんだな〜と感慨しきり。だが、それでも紹介してしまうのが食べ物のカードばかりを集めた

このページ。仕組みは従来のものと同じで、アベタイザーからスーブ、アイスクリームまでのフルコースミールのほか、ローカロリー、ロマンティック料理(ん?)などさまざまな料理のカードを選び、メッセージとともに相手にコードを送る。相手はこのサイトにアクセスしてコードを入れると、メッセージとともに料理の写真を

見ることができるといふ具合。これだけなら何の面白味もないが、特筆すべきはその写真の美しさ。これなら送ってセンスを疑われることはない? しかし逆に考えると、女の子からこんなカードを送られたら、デートにかなりの出費を覚悟しなきゃならないだろう。世の妻帯者にとっては、少なくとも奥さんには知ってもらいたくないページだ。



RealAudio 今回紹介したサイトガイドがリアルオーディオで聞ける!
「What's Cool Radio」
URL <http://home.impress.co.jp/magazine/inetmag/radio/>



趣味のいいゲテモノ(?)が勢揃い ガジェットフリーク必見のサイト

Archie McPhee Home Page

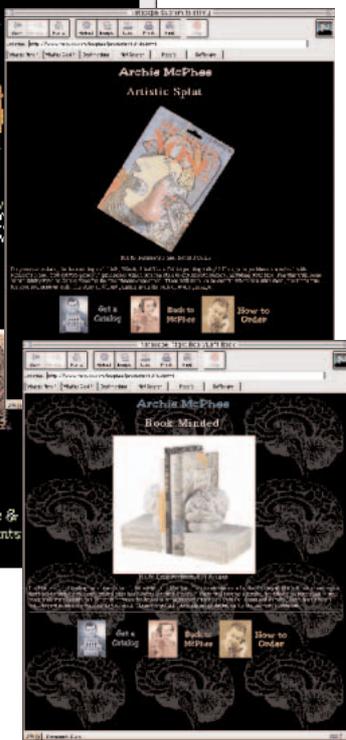
URL <http://www.halcyon.com/mcphree/>

シアトルにあるクールなグッズの百貨店(?)「Archie McPhee」のウェブページ。

扱っているものは、ピカソの鼻、ゴッホの耳、脳味噌のブックエンド(なかなか意味深)、プラスチックの義手、目玉型うそく.....といった人体パーツものから昆虫や怪物、恐竜のモデル、ガムやキャンディーなどのいわゆる駄菓子屋グッズ、SF系のチーズなガジェット、警察の現場

保存用テープ.....おバカグッズからゲテモノまで、その手の趣味のモノが盛りだくさん。すべてのグッズの写真と解説が掲載されていて、ガジェットフリークならずとも、暇にまかせてブラウズしているだけで楽しめる。

ニューアイテムの発売と同時に知らせてくれるメールサービスもあり、米国およびカナダ以外からは5ドルでカタログが請求できる。



ここまで見る? 登場人物の皮膚をクローズアップした映画鑑賞法

Derm/cinema lobby page

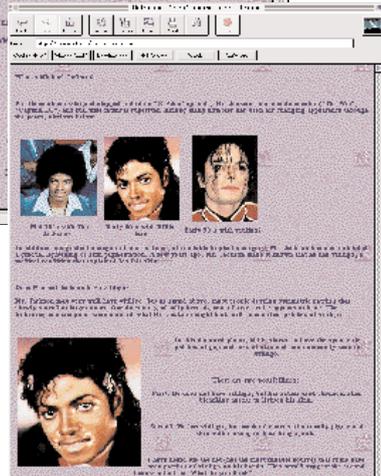
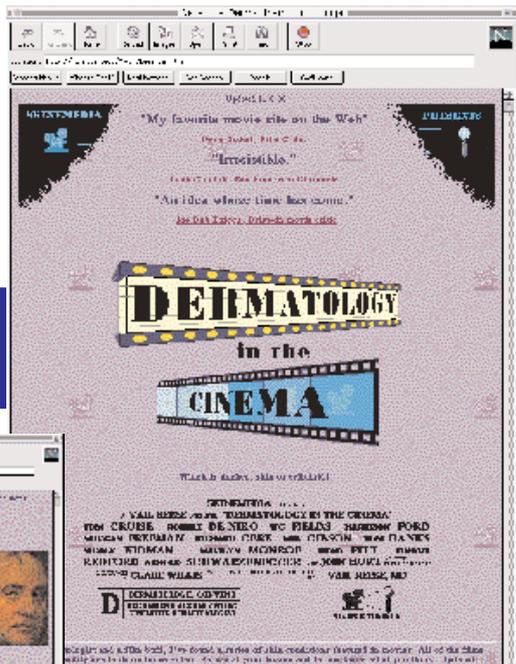
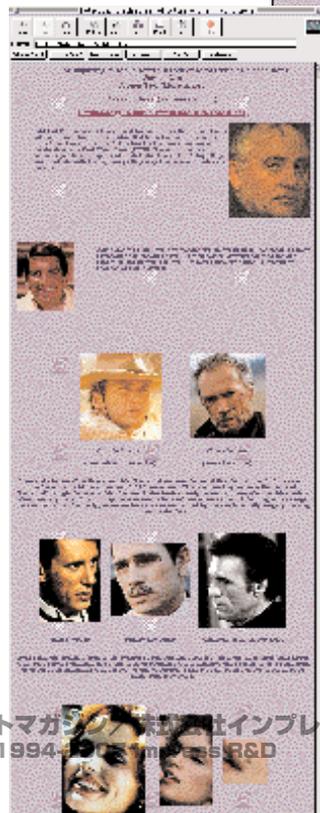
URL <http://itsa.ucsf.edu/~vcr/Dermcin.html>

一見つながりそうもないものが出会ってしまったとき、とんでもなく面白いモノが生まれることがある。皮膚病理学者であり映画フリークのReese博士が作ったこのウェブページもその1つ。職業柄が、彼が着目したのは映画のキャラクターの皮膚の状態。もちろんメイクは映画制作には欠かせない重要な要素だが、そんな視点から映画を見ると、これは前代未聞だろう。

怪奇映画などの悪魔的キャラクターをそれらしく見せているメイキャップや、ほくろ、あざ、タトゥー(刺青)などが醸し出すイメージについての解説や皮膚病理学

的な分析が併置されているが、こうした記述を読むと、映画の演出というのは、各シーンのイメージを俳優の皮膚にテクチャーマッピングするところまで徹底しているというのがよく分かる。なんとなく見てしまった映画も、こうした視点から見ると、非常にユニークな楽しみ方ができるに違いない。

ほかでは見ることのない故ジェリー・ガルシアの髭なしの写真(彼が髭をはやした秘密は?)やマイケル・ジャクソンの皮膚の謎にも迫った音楽シーンの皮膚病理学的ディスカッションも興味深い。



音楽をフィーチャーしたウェブはたくさんあるが、200,000曲以上のサンプルが置かれ、クリック1つで音楽のプレビューが楽しめるとなると、ひょっとしたらここだけかもしれない。残念ながら曲はレコード会社との契約で30秒程度しかないが、それでもさまざまな音楽のスタイルをつかむことはできる。また、メンバー登録してFireFly (<http://www.ffly.com/>)方式でランキングを付けていけば、気に入るような曲を紹介してもらえるレコメンデーションサービスもある。

最大の問題は、本来ならそこで気に入った曲を見つけて

オンラインでオーダー……となるのだが、まだ海外への発送を行っていないこと。なあーんだ、それなら使いものにならないじゃないかと言うのはちょっと早い。

このサイトの面白いところは、有名人のお気に入りの曲をちょこっとだけ聞いてみる事ができる点。登録されているのはカルロス・サンタナやグラム・パーカーといったミュージシャンからビル・クリントンやボブ・ドールといった政治家、スポーツ選手まで。彼らがこんな曲をレコード棚に持っているのか……なんて考えながら聞いてみるのも一興。



用途変更で楽しむ 世界最大の音楽クリップサイト

Tunes.Com

URL http://www.tunes.com/tunes-cgi/tunes/home_page



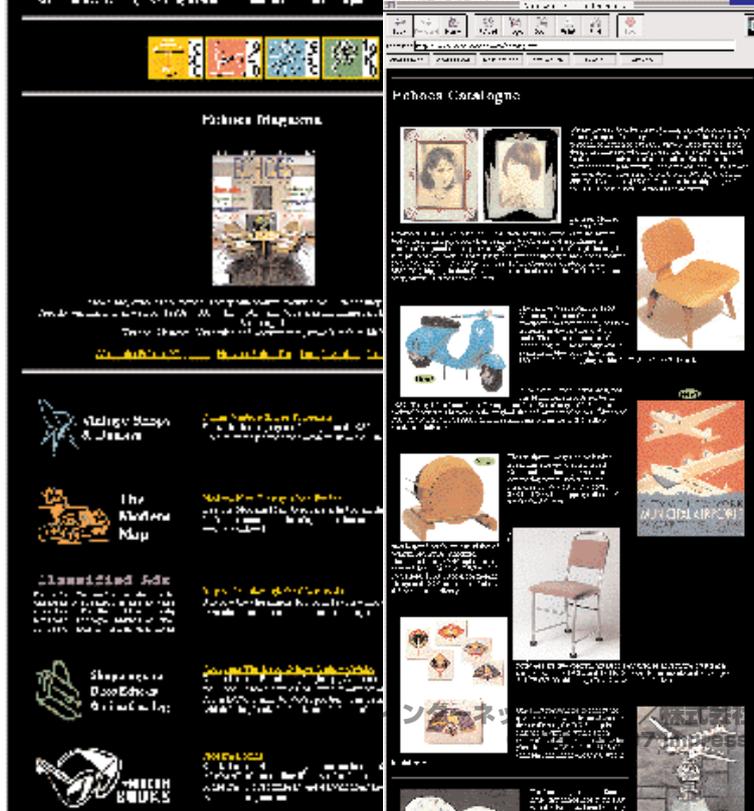
しっとりなごめるモダンの原点 レトロスタイル・マガジン

Deco-Echoes

URL <http://www.deco-echoes.com/>

どういわけだか知らないが、最近レトロなフロントグリルを付けた車を多く見かけるようになった。確かにハイテクばりばりは動弁だけど、そんな気分で見つけたのが1930年代から60年代までのいわゆる20世紀中期のモダンスタイル&デザインをフィーチャーした米国の雑誌「Echoes」のウェブページ。アクセスするとMIDIプラグインでラウンジ風のライトミュージックが流れるなど、コジャレたムード。

中身のほうは、全米のビンテージショップやモダンファニチャーのディーラーマップ、モダンデザイン系の書籍ガイドなど、地味といえば地味な内容。見所といえば、アールデコ調の写真フレームやベスパのスクーターのダイキャストモデル、クロームのDC-3をトランプに置いたグリーンランプなどを販売している「Echoes」誌のオンラインショッピングくらい？ グラフィックの量は多くないのでちょっと物足りないが、この程よさがレトロ気分のかもかもしれない。



暇とお金が余っていたらここに来るしかない? ショッピング用検索ページ

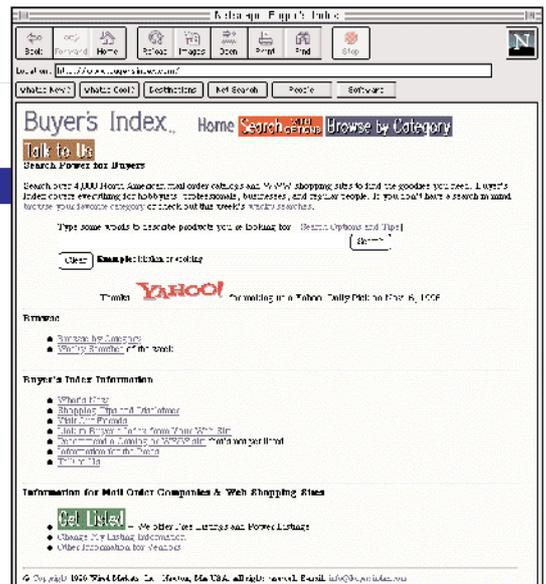
Buyer's Index

URL <http://www.buyersindex.com/>

本誌好評連載中の「Life with Internet」に強敵が登場? というわけでもないが、3,500以上のメールオーダーの会社が登録されていて、キーワード検索すれば、たちどころにオンラインショッピングのできるウェブサイトへのリンクやカタログショッピングのできる店の情報が表示される

となると愚目都臣氏ならずとも気になるところ。キーワードを思い付かない場合には、カテゴリごとのブラウズモードというメニューも完備している……なんて書くと生真面目なオンラインショッピング用の検索サービスの代表みたいだが、見逃せないのが「Wacky Search」と

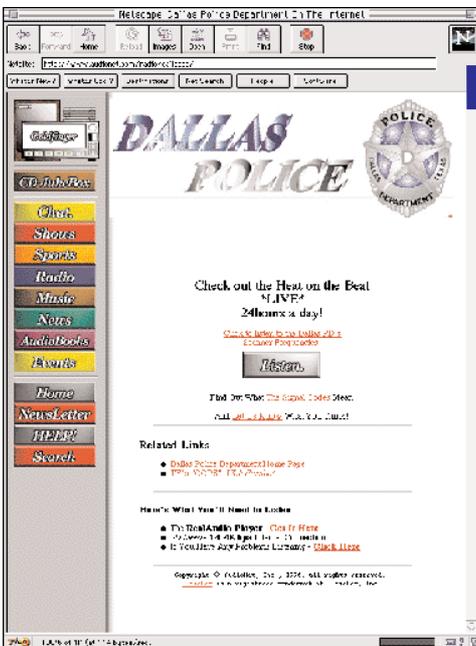
いうコーナー。「ちょっとひねったキーワードを入れるとこんなお店まで出てきます」という意外な検索事例が面白い。実際に買う気がない人でも、サーチエンジンを使ってオンラインでウィンドウショッピングまで楽しめるというわけである。



テキサスの警察無線も傍聴できる リアルオーディオサイト

Dallas Police Department On The Internet

URL <http://www.audionet.com/radio/dallaspd/>



「audionet.com」というリアルオーディオを使っている放送局や音楽サービスなどへのリンクをヤマと集めたサイトとして知られているが、その中でもちょっと異色なのがこのページ。なんと、テキサス州ダラスの警察無線の内容をそのまま(ほん?)インターネットで流しているのだ。ひと昔まえには、日本でも警察無線を傍受するのがその

筋の趣味人の間ではやったことがあるが、そのおかげで今やしっかりデジタルでガードされてしまった。それに比べると、このサービスはいかにもテキサスっぽく開放的? しかし、無線で関係者の自宅の電話番号をしゃべってしまうのはどうかと思うけど……。パトカーと無線係の間で交わされる犯罪についての暗号コード表も付いているので、

英語のヒアリング能力があれば、タイミング次第ではハラハラドキドキの実況中継を楽しむことができるかもしれない。このほか、ダラス・フォートワース地域の航空管制官と航空機の交信を聞くことができるウェブもある (<http://www.audionet.com/simulite/>)

ひょっとしたら化けるかもしれない 大物プラグインが登場

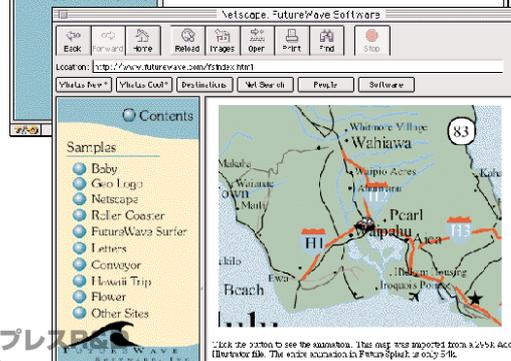
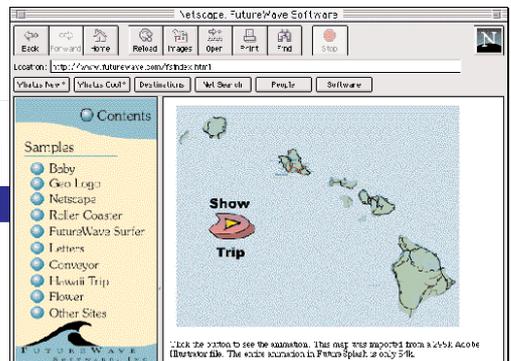
FutureWave Software

URL <http://www.futurewave.com/fsindex.html>

一時期やたらに発表されたプラグインもそろそろ峠を越したかな、なんて考えてしばらく気を抜いていたら、大変なものを見逃していた。FutureWave社のモジュール「FutureSplash」だ。簡単に言えば、グラフィックスのプラグインなのだが、ユニークなのはベクトルデータをラスターライズして表示することができるという点。どん

どんズームインしていても、当然エッジはクリアなまま。さらに、ショックウェーブ的なインタラクティブアニメーション的機能もあり、なおかつサイズは非常に小さい。例えば、サンプルとして用意されているハワイのアニメーションだが、295Kのイラストレーターのファイルから生成されたアニメーションのサイズが54K! しかも、小さな島の画

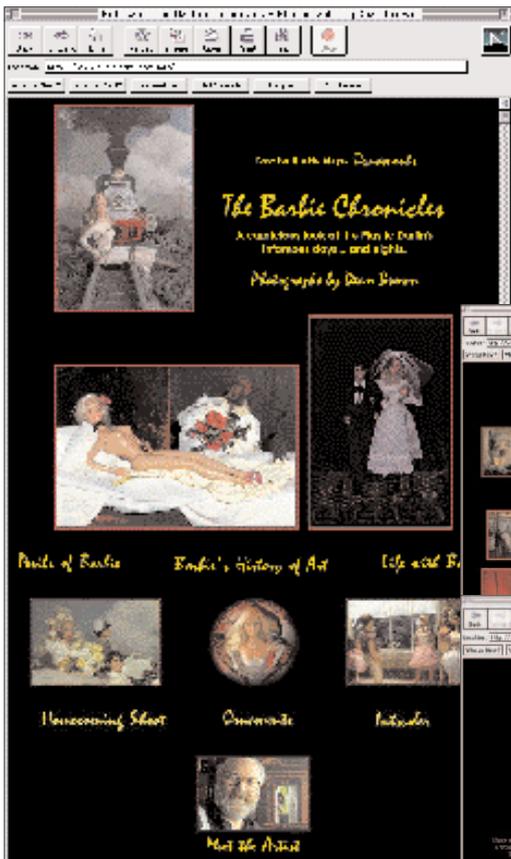
像をどんどんズームアップしていくこともできるんだから、なかなかの感動ものである。デモサイトとしてコンテンツのちゃんとしたシンプソンのサイトへのリンクもあり、結構楽しめる。プレイヤーは、ほとんどのプラットフォームとブラウザに対応しており、無料でダウンロードできる。



間違ったらかなりアブない パービーちゃんの世界

The Barbie Chronicles - Photographs by Dean Brown

URL <http://www.erols.com/browndk/>



日本にもリカちゃん人形研究者として知られる大学教授がいたと思うが、この人はその米国版？ このページはデイン・ブラウン氏がマテル社の生んだ米国の国民的アイドル、パービー・ドールを使ってさまざまなシチュエーションを演出した写真ギャラリーだ。

どこかの映画で見たような「パービーの冒険」シリーズやアメリカの少女の夢を再現した「パービーと一緒に」シリーズなど、パービーづくしなのは分かるとしても、レーガン元大統領とのツーショットがあるのにはびっくり。

中でも見ごたえのあるのが、「アルタミラの壁画」を描くパービーから始まる「芸術の歴史」。美術館に収蔵されている原画とのリンクがないのが残念だが、東西の名画のパービー版リメイクは徹底していて、なかなかの見物。

おぢさんがパービー人形を前にライティングの調整などを真剣にやってる図はかなりアブないものに見えなくもないが、このウェブの場合、ブラウン氏の艶面笑顔と気のきいたコメントのおかげで救われている？

5か月間、ディズニーワールドで施設スタッフとしてアルバイトした経験を持つ南テキサス州立大学の学生コーディ・スミス氏が、あるひらめきで作上げたプライベートなウェブページ。それは、ディズニーの作り上げる華やかな世界の陰になりながら、しっかり己の役割を果たしているゴミ箱のコレクションだ。

このページは、ゴミ箱のデザインや各パークに置かれているゴミ箱の数、清掃回数、価格などのデータのほか、異なるタイプのゴミ箱が豊富な写真で紹介されている。

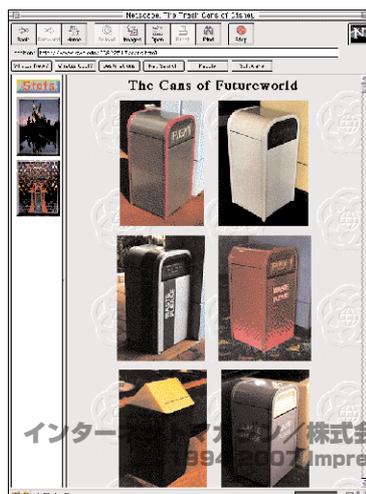
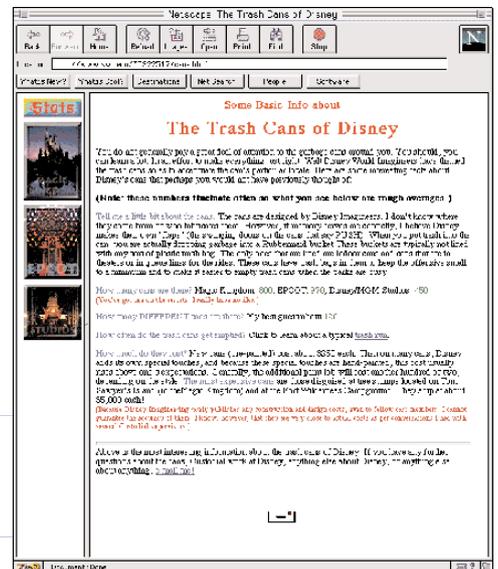
人間、ディズニーランドみたいな楽しい場所に出掛けると、そうそうゴミ箱なんか注目したりするものではない、かく言う筆者も、周りの楽し

さに感わされてしまうタイプ。マジックキングダムやエプコトセンター、ディズニースタジオなど、それぞれのロケーションに合わせて、同じようなゴミ箱がそれぞれさまざまな装いを凝らしているとは気が付かなかった。意外な盲点をついたクールなウェブだ。

やるんだったら何でも徹底？ ゴミ箱に見るディズニーの世界

The Trash Cans of Disney

URL <http://www.swt.edu/~CS22517/cans.html>





[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp